



仲間をつなぐ思いやりの心

～温もりに満ちた学校へ～

校長室だより 9月号
2025.9.3
<不撓不屈の芦中生>
・思いやりと温かな心
・言葉で伝え心で聴く
・自ら主体的に行動

自分という「人」を磨く 充実した2学期を

夏休みが終わりました。「よし！学校生活を頑張るぞ！」と気持ちを切り替えて始業式に臨めましたか？夏休みが終わることに、なんとなく淋しい気持ちになったり、悲しい気持ちになったり、「2学期がんばれるかな…」と不安な気持ちになったり。そんな風に感じている人も、結構いるのではないか？ 40日以上も学校から離れていれば、そういう気持ちになっても不思議ではありません。なので、心配しないでください。クラスの仲間や部活動の仲間、そして先生たちと話たり考えたりしながら、今やるべき事にしっかりと取り組んでいきましょう。



大きく成長する2学期

みなさんも知っているとおり、2学期は大きな行事が2つあります。運動会と文化祭です。この2つは、取り組み方が大きく異なります。言うなれば、「動」と「静」です。運動会は、クラス、学年、団の活動を通して、協力することや支え合うこと、認め合うことなどを体験しながら、達成感や充実感を味わうことができる行事で



す。それに対して、文化祭は、テーマについて、全校生徒がそれぞれの立場から、様々な視点で自分の意見をもち、自分個人やクラス、学年、学校という集団がどうあるべきかを深く考えることがねらいとなる行事です。いろいろな発表を聴いたり、日頃の努力の成果をみんなで認め合ったりして、ものの見方、考え方を深めていくために、落ち着いた雰囲気が必要になります。



中学生としての成長

この2つの行事を通して、芦中生は大きく成長します。各学年、それぞれの立場で求められることに周囲と協力して一生懸命取り組みます。また、各役割の大切さや難しさも目の当たりにします。それらを経験することで、「自分だけよければいい」という身勝手な思いが、いかに幼稚で恥ずかしいことなのかを身をもって感じていきます。そうやって、「思いやり」「認め合い」「温かさ」「相手を尊重すること」など、たくさんのことを見につけて、中学生として、あるいは一人の「人」として成長することができる。それがこの2学期です。この大切な機会を逃さないように、充実した日々を過ごしてください。みなさん的人としての成長を心から願っています。

